

平成28年度 第2回鹿児島市男女共同参画審議会 会議概要

日 時	平成28年11月2日(水) 14時00分～16時00分
場 所	サンエールかごしま 特別会議室
出席者	委員16名 事務局4名
(委員)	三浦委員(会長)、笹川委員(副会長)、石井委員、石窪委員、上ノ町委員、斉野委員、瀧川委員、竹林委員、田平委員、恒吉委員、野田委員、中山委員、日高委員、堀委員、山田委員、山本委員 (欠席：川崎委員、永吉委員、村山委員、山元委員)
(事務局)	男女共同参画推進課長、男女共同参画推進課係長 他2名
会次第	1 開会 2 講演 国の計画及び男女共同参画の視点に立った防災の取組みについて 講師：宗片 恵美子 氏(NPO法人イコールネット仙台 代表理事) 3 協議 第2次鹿児島市男女共同参画計画改定版 素案(案)について 4 その他 5 閉会
議事概要 ○委員 ●事務局	○「基本目標Ⅱ 施策の方向性1」の現状と課題について、男性の意識改革も重要ではないか。主な事業にある勤労女性センター事業では女性が中心の講座が多いと思うが、男性の意識改革、無意識の中のジェンダーバイアスへの取組を強化していく必要があるのでは。 ●基本目標Ⅱでは、施策の方向性3のワーク・ライフ・バランスの推進において男性に重点を置いた記述をしている。 ○「基本目標Ⅰ 男女共同参画社会に向けての意識づくり」の中で、男性の意識改革についてより分かりやすく書けないか検討してみてもは。 ●現状と課題の中でどう盛り込めるか検討していきたい。 ○「基本目標Ⅱ 施策の方向性3」の現状と課題にある「すべての女性が輝く」は、「女性」ではなく「男女」がよいのでは。 ○「基本目標Ⅱ 施策の方向性4」の防災分野について、計画、意思決定の段階に女性が参画するという視点をしっかり入れてほしい。 ○「基本目標Ⅲ 施策の方向性2」の現状と課題の中の「身体的特徴」という表現について、男女共同参画の視点からいえば「身体的性差」の方がよいのではないか。 ○人権の話をするときは身体的「特徴」という言葉を使う。難しい言葉よりも、一般の人たちには「特徴」の方がわかりやすいのでは。 ○「計画達成のための指標」の「児童クラブ数」の目標値が、「か所」から「人」に変わっているのはどうしてか。 ●こども政策課が策定する「こども子育て支援計画」の指標が変更されたため。 ○「児童クラブ数」については変更後の33年度目標値がどの程度の目標設定なのか分かりにくいので、実績データがあった方がよいのではないか。 ○素案(案)の中で、国連の女子差別撤廃委員会の最終見解についての記述が1ページと21ページに出てくる。今回の最終見解は前回の勧告が是正されていない、非常に遅れている、問題がある流れだが、今の表現ではすっと流されてしまう気がする。文章の代替案はないが、意見として問題を投げかけておきたい。